

---

## 環境装置受注15%増、日本産業機械工業会調べ

Edited By LogisticsToday On 2017/09/13

---

日本産業機械工業会が12日発表した7月の環境装置受注状況によると、同月の受注高は606億1400万円で前年同月に比べ15.5%増加した。

需要部門別では、製造業が食品・化学向け産業排水処理装置、鉄鋼向け排煙脱硫装置の減少により80%減となった。非製造業は電力向け排煙脱硝装置、産業排水処理装置の減少で49.5%減。

官公需は汚泥処理装置、都市ごみ処理装置、事業系廃棄物処理装置の増加により2.2倍増となった。外需は排煙脱硫装置の減少により72.7%減となった。

装置別では、大気汚染防止装置が鉄鋼、海外向け排煙脱硫装置の減少により27.9%減少。水質汚濁防止装置は官公需向け汚泥処理装置の増加で26.2%増加した。

ごみ処理装置は官公需向け都市ごみ処理装置、事業系廃棄物処理装置の増加で2.2倍増、騒音振動防止装置はその他製造業向け騒音防止装置の減少で79.2%減となった。

---

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>  
URL to article : <http://www.logi-today.com/299475>  
Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.